

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和2年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:104)
2. 調査実施時期 令和2年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:97社 / 回答率:93.3%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
R1.6	5	-15	-32	-	-	-
R1.9	-	12	-4	-11	-	-
R1.12	-	-	-2	-12	-23	-
R2.3	-	-	-	16	15	0

(概況)
トド原木在庫は前年を上回り不足感は緩和されており、今後は春以降、前年を上回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
順調/消費見合分は確保/国有林の生産調整を注視/工場生産調整のため在庫は最多/週末受入ストップ/間伐材受入が多い/製品受注少なく積増傾向/各地域潤沢/合板引合弱くだぶつく/ハルプ原料材不足

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
当年	183,683	177,410	152,805	-	-	-
(前年)	165,671	160,285	146,052	178,606	183,683	177,410
対前年比	111%	111%	105%	-	-	-

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
R1.6	-17	-17	-26	-	-	-
R1.9	-	-30	-39	-40	-	-
R1.12	-	-	-45	-53	-43	-
R2.3	-	-	-	-74	-75	-60

(概況)
トド製品荷動きは原木消費量で判断すると、前年並みで推移したものの、今後は春以降に前年を大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
新型コロナウイルスの収束が遅くなれば不況に突入する/本州方面住宅落ち込む/建築材は今後の経済状況で落ち込むと予想/梱包材落ち込み生産調整/輸出处ストップ/中国から住宅部材入らず着工遅れを懸念

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
当年	205,340	212,330	221,166	-	-	-
(前年)	210,344	205,404	224,597	197,058	205,340	212,330
対前年比	98%	103%	98%	-	-	-

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
R1.6	-17	-41	-45	-	-	-
R1.9	-	-16	-16	-19	-	-
R1.12	-	-	-33	-33	-43	-
R2.3	-	-	-	-11	-30	-29

(概況)
製品受注が少ない影響で原木在庫は前年を上回っているが、今後は前年を下回るとの企業からの慎重な回答が多い。

(回答企業の主なコメント)
自社造材のため不安感なし/在庫多く保管場所がない/昨年並み在庫は確保/12尺材・ハルプ原料材不足/在庫の積増しにはなっていない/道産カラマツ資源量を注視/米中摩擦・コロナ影響で余り気味になると予想

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
当年	234,584	237,959	218,917	-	-	-
(前年)	192,395	179,587	166,827	224,394	234,584	237,959
対前年比	122%	133%	131%	-	-	-

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
R1.6	2	-16	-19	-	-	-
R1.9	-	-34	-40	-45	-	-
R1.12	-	-	-63	-67	-52	-
R2.3	-	-	-	-78	-78	-65

(概況)
産業資材の不振によりカラマツの荷動きは前年を下回っており、今後も大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
梱包・パレット減少/米中摩擦とコロナ影響で先行不透明/梱包材落ち込みはリマンショック以上/今後更に落ちる/米中注文減少/輸出制限で悪化続くのでは/人手不足も顕著/原木と比べ製品価格低調で継続に懸念有

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9
当年	282,191	276,138	259,279	-	-	-
(前年)	312,613	287,480	288,663	262,626	282,191	276,138
対前年比	90%	96%	90%	-	-	-